

ごあいさつ

財団法人地域創造は、地域で芸術が発展する環境を形成することを目的として、財政支援、研修・交流、情報提供など、様々な事業を展開しています。調査研究事業は、地域で芸術環境づくりに取り組んでいる方々や私どもが進むべき方向を探るために、長期的視点を持って芸術環境の現状や課題、分析の枠組みを把握することを目的に実施しています。

地域における公共ホール・劇場等の文化施設では、運営面の難しさや芸術文化に対する専門的な知識の必要性から、地方自治体の直営施設から公益法人などの財団に委託し運営を行うところが増加する傾向にあります。「貸し館」としての機能より本来の「文化施設」としての機能が増え、公演や演奏会、展覧会等の開催といった様々な芸術を鑑賞する機会を提供するにあたり、より専門的な人材の確保、組織の見直しの必要性が高まっている現状です。

一方、長引く不況の中、いろいろな事業の見直しが進められており、芸術文化に携わる財団も厳しい状況におかれています。

本調査では、地域文化施設における財団の現況を考察するとともに、その財団の効果的な運営のあり方について提言を行いました。

是非この機会に、地域文化施設に携わる担当者をはじめとする多くの方々に目を通していただき、今後の財団運営の参考としてご活用いただければ幸いです。

2002年12月

財団法人地域創造

理事長 遠藤 安彦